



令和元年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

高岡中学校区 令和元年10月3日(木)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

◆令和元年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『将来、魅力ある町にするためにできること』

10年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。昨年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 令和元年 402,524人 ⇒ 令和42年 291,719人 (27.5%減)
- ・高岡地域自治区の人口推移 令和元年 11,264人 ⇒ 令和42年 6,677 (40.7%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・高岡中学校区での活動例・ふるさとふれあいバスツアー、子どもつなぐ事業、地域防災リーダー育成事業等



▲高岡中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

◆ フリートーク

● トーク参加者からの意見

- 高岡は人と人とのつながりが強い地域である。子どもは住み続けたいと言っている。働く場もあることをしっかり伝えていきたい。
- ゆめパークをはじめとして、子どもたちに地域の職業を体験させるイベントは、子どもたちの視野が広がるよい機会である。
- 車なら中心市街地にもすぐ行けるし、県内どこへ行くにもアクセスが良い。地理的に交通のアクセスがよいのは、高岡の魅力の一つである。
- 魅力発信プランの2期プランの策定を進めているが、中学生の意見も反映させたものにしたい。また、完成後は、中学校でも説明したい。
- 将来子どもが戻ってくるかは、今住んでいる大人が楽しく充実した生活を見せられるかだと思う。
- 高岡地域は大雨により水に浸かるイメージがあるので、災害対策も魅力あるまちづくりに必要である。
- 高岡にもよいものがあることを再認識した。大人として子どもに伝えたい。それぞれの活動が「点」ととどまっているため、「線」にする仕掛けが必要ではないか。また、三世代交流も親が行動で示すことが大切である。



● 中学生からの意見

- 天ヶ城開門さくらまつりをはじめとして、高岡ならではのイベントが多いのが魅力であるので、もっとPRして多くの人に来てもらいたい。
- 楽しめる場所、たとえば公園、商業施設、キャンプ場等があると高岡に残る若者や高岡に住みたい人が増えるのではないかと。日常生活に必要なスーパーが町に一つしかない。自然があるだけでは若者は集まらない。公共交通機関の本数も増えるとよい。
- 「高岡歴史かるた」をたくさんの人に知ってもらいたい。
- 防災訓練、高齢者との食事会、歩こう会は、三世代交流の場。中学生も参加すれば地域への愛着につながるのではないかと。
- 地域の課題を知らなかった。中学生にも発信すれば、中学生も自分のこととして考えるのではないかと。



● 傍聴席からの意見

- 歩こう会の子どもへの参加が少ないので、案内状を中学校に持っていき、参加者を増やしたい。
- 誘致企業の従業員の定住者が増えている。一方で、市街化調整区域の関係で商業施設などの進出が進まない。

● 市長からの回答、感想

- 大人が自分たちの地域は魅力がないと子どもに伝えてしまうと、子どもたちはその考えが身についていく。そういった連鎖が続かないようにしなければならない。大人が地域の魅力を見出し、それを伝えていかなければ地域は衰退してしまう。この点はこれからのまちづくり、人づくりにおいて重要になると考える。
- 地理的な利便性（車で中心市街地まで15分、高速道路まで5分で行ける。）という強みを、地域の方が認識しているのは大事なこと。生目に市郡医師会病院ができ、医療面での安心も生まれてくる。魅力の伝え方によっては、市外からも高岡という地域の見方が変わってくると思う。

～参加者アンケートより～

- ★大人はゴールが見える（あきらめている感もある）が子供には大いに夢を語って欲しい！それを具体化する（少しでも近づける）盛り上げている高岡にしていきたい。
- ★故郷が好きで大事に想う気持ちは当たり前心に根付くものと思うが、住み続けるため、帰ってくるためには衣（ファッション・遊び）職（仕事）住（交通や住みやすさ）が近くにある事がキーワードになると思う。また、高岡は地理的にも国道が2本通っており、（交通・物流面での）メリットもあります。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室
TEL 21-1705
FAX 29-6547

